

船舶事故等調査報告書

平成24年4月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012那第3号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成24年1月3日 23時55分ごろ	
発生場所	沖縄県与那原町当添漁港西方のリーフ 当添港北防波堤灯台から真方位276°390m付近 （概位 北緯26°11.6′ 東経127°46.3′）	
事故等調査の経過	平成24年1月13日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	漁船 友神丸、8.5トン ON2-0811（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	魚群探知器船底突出物（送受波器）損傷	
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、船首約0.4m、船尾約1.0mの喫水により、そでいか漁を終えて帰港のため、速力約6ノットで与那原湾内を自動操舵により西進中、船長が居眠りに陥ったものの、途中で目覚めてリーフに接近しているのに気づき、慌てて手動操舵に切り換えて南に舵を切ったが間に合わず、平成24年1月3日23時55分ごろ当添漁港西方沖のリーフに乗り揚げた。 本船は、付近にいた釣り人に船を押してもらい離礁して当添漁港へ帰港した。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北、風力 4、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮の中央期	
その他の事項	本船は、レーダー、GPSプロッターなどを作動させていた。 船長は、12月16日にそでいか漁に出港し、操業の疲れと睡眠不足の状態が続いており、操舵室の椅子に腰を掛けた状態で居眠りに陥った。 船長は、救命胴衣を着用していなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、与那原湾内を自動操舵により西進中、船長が、椅子に腰を掛けた状態で見張りを続けていたところ、居眠りに陥ったことから、当添漁港西方沖のリーフに乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、与那原湾内を自動操舵により西進中、船長が居眠りに陥ったため、当添漁港西方沖のリーフに乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	